

農業経済課 販売戦略室

【主な所掌事務】

（販売戦略チーム）

- ・ 部内の流通販売戦略の総括
- ・ 農産物等のマッチング
- ・ 生産者、JA等の販路拡大支援
- ・ 農産物の輸出促進（窓口）

事業名	県産農産物販売力強化事業【地域活性化対策基金】		担当	販売戦略チーム	
事業年度	令和4～7	事業主体	県、農業者等		
事業目的	農業法人等の販路の多角化と販売力の向上を図るため、実需者ニーズに対応したマッチング活動を支援する。		財源内訳	当初予算額	18,017千円
				繰入金	17,965千円
				諸収入	52千円
実施内容	1 県産農産物マッチング支援事業		13,284千円（◎13,232千円、◎52千円）		
	マーケットインの産地づくりや販路の多角化を推進するため、実需者ニーズの把握を強化するとともに、生産者等の販路開拓をサポートする。				
	(1) 企業開拓員を配置し、首都圏の実需者ニーズを収集				
	(2) マッチング推進員を配置し、県内生産者の実需者ニーズへの対応を支援				
	(3) 秋田県農産物流通販売戦略推進会議（生産者代表、集出荷団体、量販店等）の開催				
	2 企業ネットワーク活用促進事業		1,555千円（◎1,555千円）		
	本県と縁のある県外企業と連携し、大消費地における県産農産物の販路拡大を図る。				
	(1) 県人会等との連携による県産農産物のPR販売				
	(2) 包括連携協定締結企業等との連携による加工品開発				
	(3) 企業のイントラネットや社員食堂を活用した販売促進				
3 農業者等販路多角化推進事業		3,178千円（◎3,178千円）			
自ら販路の開拓に取り組む農業者等を対象とした実践的な研修等を実施する。					
(1) 販売基礎研修事業					
マーケティングの基礎や農産物のブランド化、情報発信力・集客力の向上等の研修					
(2) 販売力ステップアップ支援事業					
商談技術や模擬商談等の研修					
(3) 販売力向上実践事業					
①助成対象 首都圏バイヤー等との対面商談、首都圏商談会への出展、販路開拓活動					
②補助率 1/3以内（上限10万円）					

事業名	農産物グローバルマーケティング強化事業【地域活性化対策基金】		担当	販売戦略チーム	
事業年度	令和4～7	事業主体	県、農業者等		
事業目的	県産農産物の輸出を促進するため、海外への販路拡大とブランド化に向けた取組を推進する。		財源内訳	当初予算額	19,911千円
				繰入金	19,911千円
実施内容	1 台湾・タイ輸出拡大促進事業		11,012千円（◎11,012千円）		
	現地での需要拡大に向けたPR活動や、輸出先国の規制に対応した栽培体系等を確立する。				
	(1) 既存商流の拡大と新たな需要の開拓				
	①実施内容 小売店でのPR販売（台湾、タイ）、飲食店等に対するねぎのPRイベント（台湾）				
	②対象品目 りんご・ぶどう（台湾・タイ）、なし（タイ）、ねぎ（台湾）				
	(2) 果樹栽培体系の確立				
	①実施内容 輸出先国の規制に対応した防除体系、化学肥料等を使用しない栽培体系の確立				
	②対象品目 りんご、なし				
	2 シンガポール輸出ステップアップ事業		8,899千円（◎8,899千円）		
	輸出拡大に向けた商談会を開催するとともに、実需者等を産地に招聘し、マッチングを行う。				
(1) 実施内容					
①現地のバイヤー等による県内生産現場の視察、生産者等との意見交換					
②現地のバイヤー等を対象としたPR商談会の開催、商談後のフォローアップ支援					
(2) 対象品目					
米、青果物（すいか、りんご等）、6次化商品					

事業名	所得に直結！県産農産物まるごとブランディング推進事業		担当	販売戦略チーム	
事業年度	令和4～7	事業主体	認定農業者、農業法人、県等	当初予算額	3,486千円
事業目的	多様化する実需者や消費者のニーズに対応するため、県産農産物のブランド化に向けた取組を支援するとともに、認知度の向上やブランド定着に向けた取組を推進する。		財源内訳	一般	3,486千円
実施内容	1 あきたブランド創出支援事業		1,165千円（○1,165千円）		
	規格・品質等を訴求したプレミアムな商品づくりや、実需者や消費者のニーズを捉えた新たな商品開発を支援し、生産者の所得向上を図る。 (1) 高品質・高価格帯のブランドづくり ①対象者 卸売業者、仲卸業者、JA等 ②実施内容 県産サツマイモのブランディング ③助成対象 販促資材作成費、バイヤーの産地招へい等 ④補助率 1/2以内（上限額400千円） (2) 実需者向けの加工業務用のブランドづくり ①実施内容 栽培方法確立や収穫時期等の把握のための試験栽培等支援 ②対象品目 本わさび				
実施内容	2 ブランド育成プロモーション事業		2,321千円（○2,321千円）		
	県産農産物全体のイメージアップと販路拡大を図るため、県内外の量販店でフェアを開催する。 (1) 実施内容 首都圏・関西圏での県産農産物フェアの開催、県内での販促ツールを活用した販売促進 (2) 実施時期 首都圏、関西圏：8月、県内：随時				

事業名	AKITAグローバルリーチ戦略展開事業		担当	販売戦略チーム
事業年度	令和7～	事業主体	県	当初予算額 6月補正後
				— 5,380千円
事業目的	オール秋田体制による農畜産物輸出促進協議会の取組として、産地の意識醸成を目的としたフォーラム等の開催や課題解決型の現地実証等を行うことで、輸出先国の規制やニーズに対応できるブランド力のある輸出産地づくりを推進する。		財源内訳	一般 5,380千円
実施内容	<p>1 秋田県農畜産物輸出促進協議会スタートアップ事業【6月補正】</p> <p style="text-align: right;">当初 — →補正後 1,940千円 (⊖1,940千円)</p> <p>県内の輸出に関わる関係機関が連携し、オール秋田体制で輸出促進に取り組むための協議会（愛称：グローバルリーチAKITA）の取組として、産地の意識醸成を目的としたフォーラム等を開催するほか、輸出産地育成に向けた今後の事業計画等を検討する。</p> <p>(1) 構成団体 農業関係団体、貿易関係機関、流通関係企業、金融機関、市町村、県など</p> <p>(2) 取組内容 ①輸出促進フォーラム等の開催（基調講演、事例紹介） ②輸出事業計画検討(各品目の輸出拡大に向けた事業計画の策定)</p> <p>2 課題解決型実証事業【6月補正】</p> <p style="text-align: right;">当初 — →補正後 3,440千円 (⊖3,440千円)</p> <p>県産青果物等の輸出を拡大するため、より低コストな物流体制への見直しや輸出規制に対応した栽培技術の普及など、輸出産地が抱える各課題について、現地実証により課題解決を図る。</p> <p>(1) ねぎの物流実証業務委託 ①内 容 低コストかつ高品質輸送が可能なねぎの輸送経路・形態に関する実証 ②委託先 県内地域商社（予定）</p> <p>(2) 青果物等の栽培技術実証 ①内 容 残留農薬基準に対応した防除体系など普及段階の技術実証（鹿角市、大館市、由利本荘市） ②対象品目 りんご</p>			

